

「和歌山市交通まちづくり研究会」終了報告

研究会主査 辻 本 勝 久

【和歌山大学経済学部教授】

わが国の中枢・中核都市では、高齢化対策や交通安全対策、健康増進、地球温暖化対策といった社会的・環境的観点から公共交通の役割が再評価されている。また、和歌山市においては各種都市機能の郊外流出や、地域経済の低迷に伴う中心市街地の空洞化対策といった経済的課題も生じており、その解決に向けた交通システム面からの具体的検討と政策提示が求められる。

国内外では、富山市、ストラスブール（仏）、フライブルグ（独）など、和歌山市に類する規模の都市において、公共交通システムへの抜本的なテコ入れや、まちづくりと交通施策の連携を特色とした「交通まちづくり」が実施され、大きな成果を挙げている。

このような中で、本研究ではテーマを「和歌山市における幹線公共交通網の再構築とまちづくりに関する研究」に設定して調査研究を進めた。また、交通施策はあるべき和歌山市の実現に向けた手段であるとの認識を明確にするため、本研究会を「和歌山市まちづくり戦略研究会」の分科会に位置づけることとした。

研究会は後述のメンバーと、多数のオブザーバーの参加のもとで進められた。日程と報告者・報告テーマは次の通りであり、その成果を活かして報告書が取りまとめられた。

〔研究会 全 7 回〕

- ・ 6 月 8 日
 - ・ 研究会の進め方について
 - ・ 辻本勝久「国内外の地方中核都市における交通まちづくりの事例 ―ストラスブール、フライブルグ、富山―」
- ・ 7 月 7 日
 - ・ 汲田康太「岐阜市のバス交通を利用した交通まちづくり」
- ・ 9 月 16 日
 - ・ 畑山善生「IC カードと街活性化 現状と今後」
- ・ 11 月 9 日
 - ・ 汲田康太「広島視察報告」
- ・ 12 月 14 日
 - ・ 田中喜行「公共事業のあり方について～マクロ経済成長モデル「貧困の罠」からの考察～」
 - ・ 永尾吉賞「交通まちづくり研究会(提案)」
 - ・ 中平匡俊「和歌山市の『新・幹線公共交通』」

- ・畑山善生、辻本勝久からも発言あり
- ・2月1日
 - ・中平匡俊「幹線道路への LRT 導入案」
 - ・山本敦子「歩行空間のバリアフリー化」
 - ・藤田和史「和歌山市の幹線交通網を構築する」
- ・3月7日
 - ・辻本勝久「和歌山市地域公共交通会議の取り組み状況について」

交通（移動）は、衣・食・住とならび、人々の生活の 4 大基礎条件と言えるものであるし、血のめぐりの善し悪しがひとの健康に直結するように、交通システムの善し悪しはまちの持続可能性（人や環境への優しさと経済活力）に直結する。

幹線公共交通の再構築をテーマとした本研究会はひとまず単年度限りで終了するが、次年度以降も時宜に即したテーマをその都度選定しながら「交通まちづくり」をコツコツと積み上げていくことで、持続可能な和歌山市づくりに貢献したい。

[研究会・執筆メンバー]（敬称は省略）

代表	辻本 勝久	和歌山大学経済学部教授
	大泉 英次	和歌山大学経済学部教授
	鈴木 裕範	和歌山大学経済学部准教授
	藤田 和史	和歌山大学経済学部講師
	山本 敦子	和歌山大学経済学部助教
	木下 雅夫	(財)和歌山社会経済研究所常務理事・事務局長
	中山 健太	(財)和歌山社会経済研究所研究部長
	畑山 善生	(財)和歌山社会経済研究所研究部長
	中平 匡俊	(財)和歌山社会経済研究所主任研究員
	松村 光一郎	(財)和歌山社会経済研究所主任研究員
	関本 禎孝	和歌山商工会議所企業支援部企画・街づくり支援室室長補佐
	中谷 恵理子	和歌山商工会議所企業支援部企画・街づくり支援室主事
	田中 喜行	神戸大学大学院経済学研究科院生
	汲田 康太	和歌山大学経済学部学生

（注：メンバーの所属・肩書については平成 23 年度時点）

[報告書] 和歌山市のまちづくりと公共交通幹線の再構築

[執筆担当]（敬称は省略）

はじめに 木下 雅夫

第 1 部 公共交通幹線とハード施策

1. 戦略的交通基盤整備の重要性 田中 喜行
 2. 地理情報システムを用いた和歌山市の幹線交通網構築への一提案 藤田 和史
 3. トラム導入による観光都市「和歌山」への変貌 中平 匡俊
 4. 歩行環境のバリアフリー化 山本 敦子
 5. 和歌山市における LRT・BRT 導入の費用対効果分析実施案 辻本 勝久
- 第 2 部 公共交通幹線とソフト施策
6. 岐阜市のバスを中心とした交通まちづくり 汲田 康太
 7. 交通系 IC カードとまち活性化 畑山 善生

平成 24 年度事業

■ 研究事業

● 和歌山市まちづくり戦略研究

(平成 23 年度より継続、研究概要は P12 を参照)

【メンバー】

代表	木下 雅夫	(財)和歌山社会経済研究所常務理事
	大門 忠志	(財)和歌山社会経済研究所研究部長
	高田 朋男	(財)和歌山社会経済研究所研究部長
	中平 匡俊	(財)和歌山社会経済研究所主任研究員
	高木 啓江	(財)和歌山社会経済研究所主任研究員
	大泉 英次	和歌山大学経済学部教授
	足立 基浩	和歌山大学経済学部教授
	鈴木 裕範	和歌山大学経済学部教授
	中島 正博	和歌山大学経済学部准教授
	大井 達雄	和歌山大学観光学部准教授
	山本 敦子	和歌山大学経済学部助教
	中谷 正隆	和歌山商工会議所企業支援部企画・街づくり支援室主任

● 和歌山市のまちづくり戦略と都市間交通網に関する研究

【研究趣旨と目的】

和歌山市では、紀ノ川北岸に和歌山北インターチェンジができ、京奈和自動車や第二阪和国道の開通も予定されているなど、高規格道路網が発達してきており、域外からの観光需要等の獲得や、高速バス路線網の発達等が期待される一方で、買い物客等の他地域への流出傾向がさらに強まる懸念もある。